



メール連携オプション 一般ユーザマニュアル

2026-06-11



1. 目次

- 1. 目次
- 2. サービス概要
- 3. メール連携オプションの使い方
 - 3.1. 添付ファイル付きメールの送信について
 - 3.1.1. メールの送信
 - 3.1.2. 送信完了
 - 3.2. クリプト便の受信について
 - 3.3. 送信の取消について
- 4. メール連携オプションの仕様詳細
 - 4.1. 受理可能なメールについて
 - 4.2. 添付ファイル連携について
 - 4.2.1. クリプト便に対するファイルの連携条件
 - 4.2.2. 連携対象ファイルが1件も存在しない場合の処理
 - 4.2.3. 連携済みファイルの削除条件
- 5. トラブルシューティング
 - 5.1. 40MBを超える送信を行った際のエラーについて
 - 5.2. バウンスメールについて
 - 5.3. 添付ファイルが変更されるケースについて
 - 5.4. 添付ファイルがwinmail.datになって受信者に届く
 - 5.5. 同じメールが複数通届く
 - 5.6. その他のエラー通知について
 - 5.6.1. 添付ファイルのファイル名に使用できない文字が使われている
 - 5.6.2. 添付ファイルの数が上限を超えている
 - 5.6.3. 添付ファイルにファイル名がないファイルが存在する
 - 5.6.4. 同じファイル名の添付ファイルが存在する

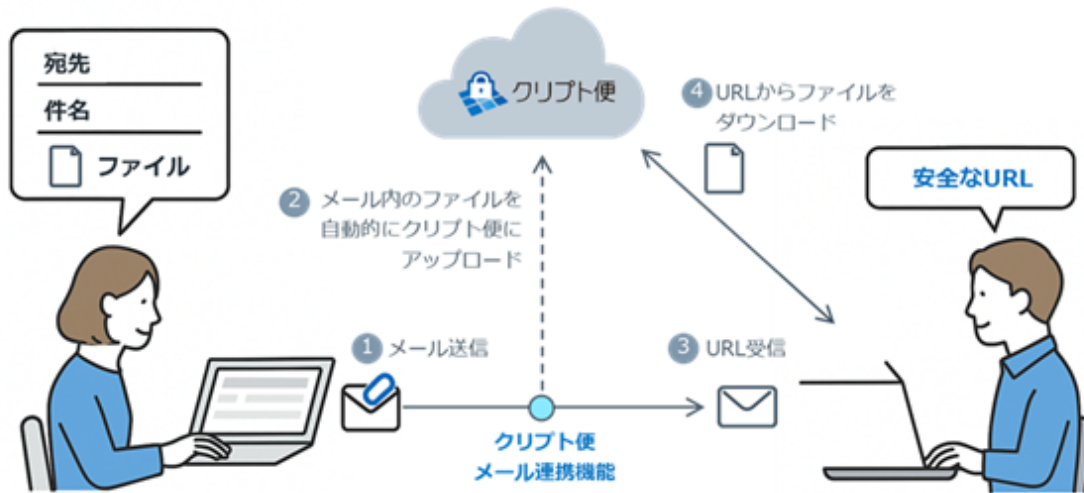
- 5.6.5. クリプト便で使用が禁止されたファイル名が使用されている
- 5.6.6. 宛先のメールアドレス数が上限（50個）を超えている
- 5.6.7. 宛先メールアドレスの形式が不正
- 5.6.8. 同じ宛先のメールアドレスが存在する
- 5.6.9. 件名の文字数が上限（200文字）を超えている
- 5.6.10. 件名に使用できない文字が含まれている
- 5.6.11. クリプト便がシステムメンテナンス中
- 5.6.12. メール連携用デフォルトユーザのアカウントがロックされている
- 5.6.13. クリプト便の設定に不備がある
- 5.6.14. メール連携用デフォルトユーザのアカウントに不備がある
- 5.6.15. 添付ファイルにウイルスが見つかった
- 5.6.16. ファイル容量が上限を超えている
- 5.6.17. 宛先のメールアドレスへの送信が制限されている
- 5.6.18. ファイルの添付形式に不備がある
- 5.6.19. 特定の形式で暗号化されたファイルが添付されている
- 5.6.20. 承認者により送信が承認されなかった
- 5.6.21. クリプト便のサーバで一時的なエラーが発生した
- 5.6.22. クリプト便の処理中に予期しないエラーが発生した
- 5.6.23. 添付ファイルの送信に失敗した
- 5.6.24. 登録されているクリプト便の専用ドメインが誤っている可能性がある
- 5.6.25. クリプト便のメール連携オプションが設定されていない
- 5.6.26. 送信元メールアドレスの形式が不正
- 5.6.27. クリプト便の送信ユーザがメール連携オプショングループに所属していない
- 5.6.28. クリプト便のメール連携オプショングループが設定されていない
- 5.6.29. クリプト便の送信アカウントがロックされている
- 5.6.30. クリプト便の送信アカウントのパスワードの有効期限が切れている

2. サービス概要

クリプト便メール連携オプション（以下、「本オプション」）を利用することで、送信者は普段通りメールにファイルを添付して送信するだけで、添付ファイルは自動的に分離され、クリプト便経由で相手に安全に送付することができます。

受信者は、添付ファイルなしのメールを受信し、メッセージを確認すると同時に、通知されたURLにアクセスしてクリプト便のサイトからダウンロードする形で添付ファイルを受領します。

このように、ユーザは特別な操作を意識することなく、従来のメール送信の流れを変えずに、セキュリティ強化を実現できます（下図を参照）。



3. メール連携オプションの使い方

3.1. 添付ファイル付きメールの送信について

3.1.1. メールの送信

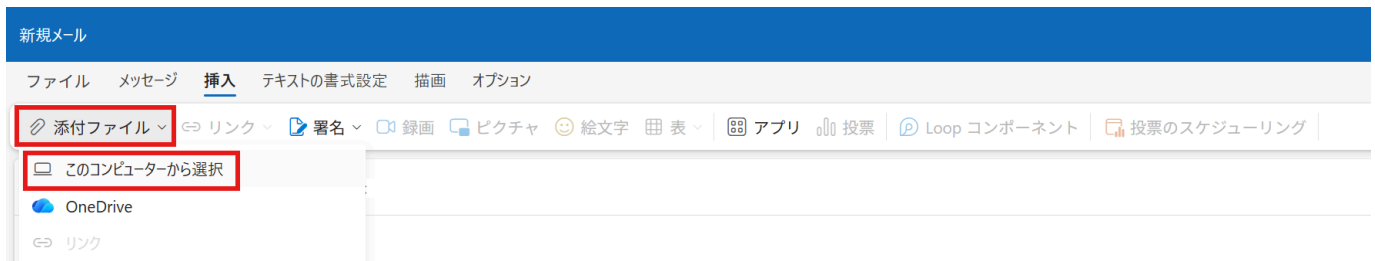
以下のメールクライアントのいずれかをご利用いただき、添付ファイル付きメール（署名・暗号化なし）をお送りください。

ファイルを追加する際は、メールクライアントのファイル添付機能（クリップマークなどの「添付」ボタン）を利用することをおすすめします。

- Microsoft Outlook for Microsoft 365 MSO
- Outlook for Windows ([Microsoft Store](#) よりダウンロード可能)
- Outlook on the web (<https://outlook.cloud.microsoft/>)
- Gmail (<https://mail.google.com/>)

なお、本オプションを利用して送信できるメールの最大サイズは40MBです。

メールの合計サイズ（添付ファイルを含む）は、40MB 未満に保つ必要があります。



3.1.2. 送信完了

受信者には、クリプト便のお預かり通知メールと、ファイル取得用パスワードが挿入されたメール本文が届きます。

通常、ユーザが添付ファイル付きメールを送信してから受信者にクリプト便と送信メールが届くまで数分程度かかりますが、システムの負荷状況によってはさらに時間を要する場合がございます。

承認機能をご利用の場合

ご利用のセクションで承認機能が有効化されている場合、添付ファイルは承認者による承認が完了した後にクリプト便経由で受信者に送信されます。

メール本文は承認の完了を待たずに受信者に届きますが、ファイルのダウンロードは承認完了後に可能となります。

3.2. クリプト便の受信について

受信者には、ファイル取得用のパスワードが付与されたメールが届きます。

なお、送信元のセクションで承認機能が有効化されている場合と、そうでない場合とで、メール本文に挿入される案内文が異なります。

<メール本文に挿入される情報のサンプル（承認なしの場合）>

【ご案内】

こちらのメールは、添付ファイルがクリプト便によって送信されています。
添付ファイルを取得する際は、別途届きますクリプト便からの通知メールに記載のURLにアクセスいただき、
下記パスワードをご入力ください。

クリプト便ファイルパスワード：
kgtUAv%hF:~xU~8

送信者 : sample-user@example.com
お預かり日時 : 2026/01/01 00:00
件名 : 【クリプト便】会議の資料を送付いたします

<メール本文に挿入される情報のサンプル（承認ありの場合）>

【ご案内】

こちらのメールは、送信元の承認者が承認され次第、添付ファイルがクリプト便によって送信されています。
添付ファイルを取得する際は、別途届きますクリプト便からの通知メールに記載のURLにアクセスいただき、
下記パスワードをご入力ください。

クリプト便ファイルパスワード：
kgtUAv%hF:~xU~8

送信者 : sample-user@example.com
お預かり日時 : 2026/01/01 00:00
件名 : 【クリプト便】会議の資料を送付いたします

承認ありの場合の注意事項

承認機能が有効なセクションから送信された場合、受信者のメール本文には「送信元の承認者が承認され次第」と記載されます。
承認者が承認を完了するまで、クリプト便のお預かり通知メールは届きません。承認完了後に、お預かり通知メールが届きます。

また、承認なしの場合は同時に、承認ありの場合は承認完了後に、[お預かり通知メール](#)が届きます。
ファイルのダウンロードの際は、メール本文に記載されている「クリプト便ファイルパスワード」を利用します。

ご利用環境によるURLの違いについて

お預かり通知メールに記載されるURLは、ご利用のクリプト便環境によって異なる場合があります。
専用ドメインをご契約の場合は、通知メール内のURLが契約先の専用ドメインとなります。

<お預かり通知メールのサンプル>

件名

【クリプト便】会議の資料を送付いたします

本文

ゲストユーザ 様

クリプト便をご利用いただき、誠にありがとうございます。

あなた宛にメッセージをお預かりしております。
下記URLよりご確認ください。

<https://cryvia.cryptobin.jp/crypto/non.action?cd=xxx>

送信者 : 送信ユーザ(sample-user@example.com)
お預かり日時 : 2026/01/01 00:00:00
有効期限 : 2026/01/07

ファイルをお預かりしています。
お心当たりがない場合には、送信者にお問い合わせください。

--- ファイル -----
議事録.txt
2026年度予算.pptx

*** 注意 ***

このメールは送信専用アドレスから送信しています。
ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

3.3. 送信の取消について

送信を行ったユーザのアカウントでクリプト便の一般ユーザ画面にログインし、送信取消を行うことが可能です。

[送信済みメッセージを取り消す](#)

クリプト便のアカウントを所持していない、もしくはメール連携用デフォルトユーザで送信されたメッセージについては、送信者自身でメッセージを取り消すことはできません。

やむを得ず送信の取消を行いたい場合は、セクション管理者様にご相談ください。

4. メール連携オプションの仕様詳細

4.1. 受理可能なメールについて

本オプションでは、送信されたメールの内部構造を最初に確認し、安全に処理できる形式かどうかを判定します。

次のようなメールは受理せず、送信をエラーとして差し止めたうえで、送信元に通知します。

- メール全体または一部が暗号化されている（PGP等）
- 本文内に、特殊な形式で埋め込まれたファイルが存在する
- 5章に記載したエラー条件に該当する

なお、画像やアイコンの貼り付け、ドラッグ&ドロップによる本文埋め込みは、メールクライアントによっては特殊な形式に変換されることがあります。

クリプト便へ連携したいファイルは、メールクライアントの「添付」ボタンから追加することをおすすめします。

技術仕様：

より具体的には、内部フォーマットが以下に該当する場合には、当該メールを受理しません。

- 添付ファイルが格納されているメールパート内の `Content-Type` ヘッダの値が、以下のいずれかに該当する場合
 - `application/pgp-encrypted` (PGP暗号化パート)
 - `application/pkcs7-mime` (S/MIME暗号化・署名パート)
 - `application/x-pkcs7-mime` (同上)
- 本文内のHTMLタグとして、`data: URL` スキームが含まれる場合
- その他、5章に記載するエラー条件に該当する場合

4.2. 添付ファイル連携について

前節の条件を満たしたメールに添付ファイルが含まれる場合には、まず当該ファイルをクリプト便で送信します。

その後に、メール上のファイルを削除し、クリプト便のファイル取得用パスワードを追記したうえで、宛先に対してメールを送信します。

すなわち、受信者は「クリプト便のお預かり通知メール」からファイルダウンロード用URLにアクセスし、メール本文に追記されているパスワードを入力することで、ファイル本体を取得することが可能です。

4.2.1. クリプト便に対するファイルの連携条件

メールの内部構造に問題がなく、かつ以下の操作によって添付されたファイルは、原則としてクリプト便への連携対象ファイルとして自動抽出されます。

ただし、本文テキストとして扱われるパートは連携対象外となります。

- 「添付」ボタンやドラッグ&ドロップなどのメールクライアントの操作により、明示的に添付されたファイル
- HTMLメール本文に埋め込まれた画像・アイコンなど（インラインファイル）

技術仕様：

以下の条件のすべてを満たすメールパート内の情報は、クリプト便に連携されません。

- パート内の `Content-Type` ヘッダの値として、`text/plain` または `text/html` が明記されているか、あるいは無指定である
- パート内の `Content-Disposition` ヘッダの値として、`inline` が明記されているか、あるいは無指定である

それ以外のメールパートは、原則としてすべてクリプト便への連携対象ファイルとして自動抽出されます。

4.2.2. 連携対象ファイルが1件も存在しない場合の処理

メール内に、クリプト便への連携対象ファイルが1件も存在しない場合は、後続の処理をスキップし、メールを受信者に中継して処理を終了します。

4.2.3. 連携済みファイルの削除条件

クリプト便へ連携されたファイルは、メール上から削除されます。

技術仕様：

- 削除処理では、元のメールから宛先・件名・本文を抽出した上で、送信用メールを再構成します。その際に、元のメール上に存在していた添付ファイル部分のメールパートは除外されます。
- 同時に、HTMLメール内から、添付ファイルパートをインライン参照する記述も削除・置換します。ただし、パート内に **Content-ID** ヘッダが存在する場合に限りです。
- インライン参照の削除対象は、主に以下のHTMLタグ・属性です。
 - 下記タグの **src** 属性のうち、値が **cid:** で始まるもの
 - **** タグ
 - **<video>** タグ
 - **<audio>** タグ
 - **<input type="image">** タグ
 - **<embed>** タグ
 - **<object>** タグの **data** 属性
 - 各種タグの **background** 属性（値が **cid:** で始まるもの）
 - 各種タグの **style** 属性内における、**url** を接尾辞とするCSSプロパティ（値が **cid:** で始まるもの）

5. トラブルシューティング

メール送信に失敗する等の予期しない挙動が発生するケースと、対処方法についてご紹介します。

5.1. 40MBを超える送信を行った際のエラーについて

以下のエラー通知が届いた場合、添付ファイルを含むメールのサイズが40MB以下となるよう修正してから再送してください。

また、40MBを超過するファイルを送信する場合は、Web画面からクリプト便をご利用ください。

<メールクライアントにMicrosoft Outlookをお使いの場合の例>

The screenshot shows an email interface with a header bar containing '[GW] テストメール - rls56' and a '要約する' button. The sender is '自分' (Me) with the subject 'お世話になっております。' and a date of '2025/10/15 (水) 15:43'. The recipient is 'Microsoft Outlook' with the subject '宛先: Microsoft Outlook' and the same date. A language indicator shows 'このメッセージは英語です' (This message is in English) with buttons for '日本語に翻訳します' (Translate to Japanese) and '英語からは翻訳しない' (Do not translate from English). The main body of the email contains the following error message:

次の電子メール アドレスへのメッセージが open.mail-manager-smtp.ap-northeast-1.amazonaws.com によって拒否されました:
[shared-user-3@crvvia-dev.cryptobin.jp \(shared-user-3@crvvia-dev.cryptobin.jp\)](mailto:shared-user-3@crvvia-dev.cryptobin.jp)
メッセージがメッセージのサイズ制限を超えています。メッセージのサイズを小さくして再送信してください。

open.mail-manager-smtp.ap-northeast-1.amazonaws.com からこのエラーが返されました:
Message is too long.

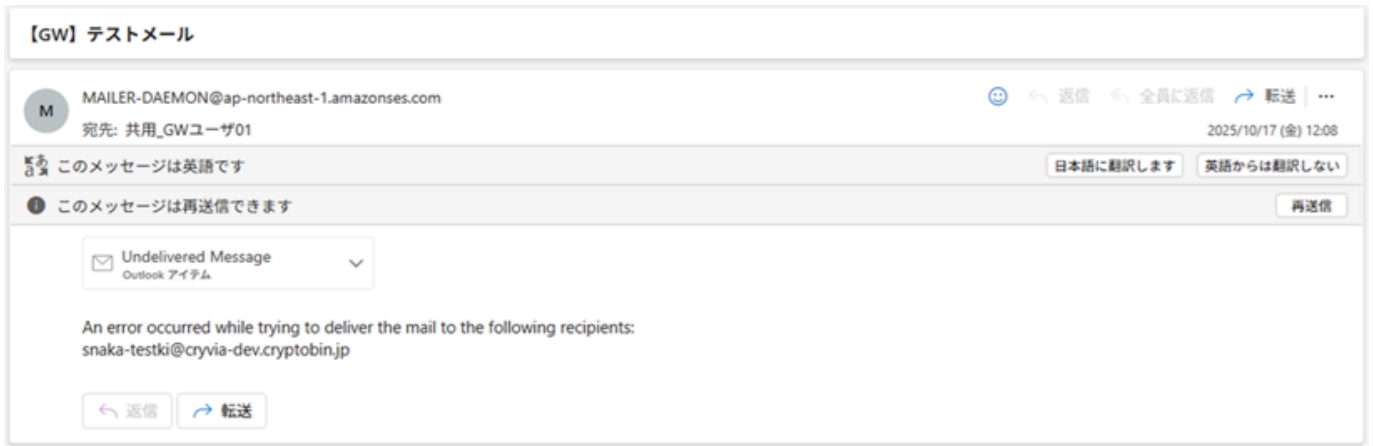
5.2. バウンスメールについて

以下のエラー通知が届いた場合、存在しない宛先に送信した場合や、宛先ドメインのメールサーバの障害、宛先メールボックスの容量不足、メール連携オプション機能の障害などの可能性があります。

バウンスメールの内容をご確認のうえ、必要に応じて再送してください。

```
件名 : <送信したメールの件名が記載されます>  
差出人(From) : MAILER-DAEMON@ap-northeast-1.amazonses.com  
宛先(To) : <送信者のメールアドレス>  
本文 : An error occurred while trying to deliver the mail to the following  
recipients: <エラーになった宛先メールアドレス>  
添付ファイル : <送信したメール原本が添付されます>
```

<バウンスメールのサンプル>



5.3. 添付ファイルが変更されるケースについて

メールクライアント上で、添付ファイルの内容が自動的に書き換えられるケースがあります。具体的な事例は、以下の通りです。

- テキストファイルの改行コードが、メールの送信時に変更される
- メール内に埋め込んだ画像ファイルの形式・フォーマットが、メールの下書き保存時に変更される

これらの事象は、Microsoft Outlookなどで作成可能な「リッチテキスト」の形式でメールを送信した際に発生する場合があります。

本オプションをご利用になる際は、メール形式として「プレーンテキスト」または「HTML」をご選択いただくことを推奨します。

また、必要に応じて、通常のクリプト便によるファイル転送もご検討ください。

5.4. 添付ファイルがwinmail.datになって受信者に届く

Microsoft Outlookなどで作成可能な「リッチテキスト」形式でメールを送信した際に、添付ファイルがwinmail.dat となって受信者に届く場合があります。

本オプションをご利用になる際は、メール形式として「プレーンテキスト」または「HTML」をご選択いただくことを推奨します。

5.5. 同じメールが複数通届く

複数回送信操作を行っていない場合でも、同一内容のメール本文や通知メールが複数通届くことがあります。この事象は、通信遅延やご利用のメール環境における再送処理などが原因で、一時的に発生する場合があります。

す。

頻繁に発生する場合は、セクション管理者様経由でクリプト便ヘルプデスクまでご相談ください。

5.6. その他のエラー通知について

以下のようなエラー通知が届いた場合、メールに記載されたエラー内容に応じた対処を行い、再送してください。

<エラー通知のサンプル>



5.6.1. 添付ファイルのファイル名に使用できない文字が使われている

エラー内容： 添付ファイルのファイル名に使用できない文字が使われています。

添付ファイルのファイル名に4バイト文字を使用しないよう修正してから再送してください。

5.6.2. 添付ファイルの数が上限を超えている

エラー内容： 添付ファイル数が上限 (20個) を超えています。

添付ファイルの数が20個以内となるよう修正してから再送してください。

5.6.3. 添付ファイルにファイル名がないファイルが存在する

エラー内容： 添付ファイルにファイル名がないファイルが存在します。

ファイル名が適切か確認してください。

5.6.4. 同じファイル名の添付ファイルが存在する

エラー内容： 同じファイル名の添付ファイルが存在します。

ファイル名が重複しないよう修正してから再送してください。

5.6.5. クリプト便で使用が禁止されたファイル名が使用されている

エラー内容： クリプト便で使用が禁止されたファイル名が使用されています。

ご利用のセクション・グループで禁止されているファイル名の添付ファイルを取り除いてから再送してください。

5.6.6. 宛先のメールアドレス数が上限（50個）を超えている

エラー内容： 宛先のメールアドレス数が上限（50個）を超えています。

To、Cc、Bccの宛先数の合計が50個を超過しています。宛先を減らしてから再送してください。

5.6.7. 宛先メールアドレスの形式が不正

エラー内容： 宛先に不正な形式のメールアドレスが含まれています。

宛先メールアドレスの形式を正しく修正してから再送してください。

5.6.8. 同じ宛先のメールアドレスが存在する

エラー内容： 同じ宛先のメールアドレスが存在します。

宛先のメールアドレスの重複を解消してから再送してください。

5.6.9. 件名の文字数が上限（200文字）を超えている

エラー内容： 件名の文字数が上限（200文字）を超えています。

件名の文字を200文字以内に修正してから再送してください。

5.6.10. 件名に使用できない文字が含まれている

エラー内容： 件名に使用できない文字が含まれています。

件名に4バイト文字を使用しないよう修正してから再送してください。

5.6.11. クリプト便がシステムメンテナンス中

エラー内容： クリプト便がシステムメンテナンス中です。

クリプト便がシステムメンテナンス中の状態です。

メンテナンス中に送信されたメールは、メンテナンス終了後に正常に処理される場合もありますが、本エラー通知が届いた場合は、メンテナンスが完了したことを確認のうえ、再送してください。

なお、メンテナンス時間については、クリプト便のログイン画面等からご確認ください。

5.6.12. メール連携用デフォルトユーザのアカウントがロックされている

エラー内容： クリプト便のIDがロックされています。

メール連携用デフォルトユーザのアカウントがロックされており、本オプションが利用できない状態です。セクション管理者様にご相談ください。

5.6.13. クリプト便の設定に不備がある

エラー内容： クリプト便のIPアドレス許可設定に不備があります。

エラー内容： クリプト便のセクション設定でオートパイロットがOFFになっています。

本オプションに関する設定に不備があり、本オプションが利用できない状態です。
セクション管理者様にご相談ください。

5.6.14. メール連携用デフォルトユーザのアカウントに不備がある

エラー内容： クリプト便のログインIDまたはパスワードが誤っています。

エラー内容： クリプト便のパスワードが初期化されています。

エラー内容： クリプト便のパスワードの有効期限が切れています。

エラー内容： クリプト便のユーザがグループに所属していません。

メール連携用デフォルトユーザのアカウントに不備があり、本オプションが利用できない状態です。
セクション管理者様にご相談ください。

5.6.15. 添付ファイルにウィルスが見つかった

エラー内容： 添付ファイルにウィルスが見つかりました。添付ファイルを削除してください。

添付ファイルがウィルスに感染している可能性がございます。
当該ファイル（検体）をクリプト便ヘルプデスクまでお送りいただくことで、原因を確認できます。
確認をご希望の場合はセクション管理者様経由でクリプト便ヘルプデスクまでご相談ください。

5.6.16. ファイル容量が上限を超えている

エラー内容： ファイル容量が上限を超えています。

添付ファイルを含むメールのサイズがご契約サイズ以内となるよう修正してから再送してください。

5.6.17. 宛先のメールアドレスへの送信が制限されている

エラー内容： 宛先のメールアドレスへの送信が制限されています。

ご利用のセクション・グループで禁止されている宛先を取り除いてから再送してください。

5.6.18. ファイルの添付形式に不備がある

エラー内容： メールにファイルを添付する方法が不正です。(data: URL形式)

メール本文のHTMLタグ内に、**data: URL** スキームで埋め込まれたファイルが含まれている可能性があります。

メールをプレーンテキスト形式に変更し、本文内に埋め込まれていた画像類を、メールクライアントの「添付」ボタンで追加し直してから再送してください。

5.6.19. 特定の形式で暗号化されたファイルが添付されている

エラー内容： 暗号化されたファイルを「クリプト便メール連携」経由で送信することはできません。

PGP などの特定の形式で暗号化された添付ファイルが含まれている可能性があります。

メールクライアント上で、メールを暗号化して送付する設定が有効化されている場合には、解除した上で再送してください。

メールクライアントの設定に関する詳細は、システム管理者様にご相談ください。

5.6.20. 承認者により送信が承認されなかった

エラー内容： 承認が却下されました。

エラー内容： 承認設定の内容が不正です。

承認機能が有効なセクションにおいて、承認者が送信を承認しなかった場合や、承認設定に不備がある場合に通知されます。

内容を確認のうえ、必要に応じて再送するか、セクション管理者様にご相談ください。

5.6.21. クリプト便のサーバで一時的なエラーが発生した

エラー内容： クリプト便のサーバで一時的なエラーが発生しました。

クリプト便のサーバで一時的なエラーが発生していた可能性があります。
しばらく時間を置いた後、再送してください。
その後も事象が解消しない場合には、セクション管理者様にご相談ください。

5.6.22. クリプト便の処理中に予期しないエラーが発生した

エラー内容： クリプト便の処理中に予期しないエラーが発生しました。

クリプト便の処理中に予期しないエラーが発生した可能性があります。
しばらく時間を置いた後、再送してください。
その後も事象が解消しない場合には、セクション管理者様にご相談ください。

5.6.23. 添付ファイルの送信に失敗した

エラー内容： 添付ファイルの送信に失敗しました。

クリプト便のサーバで一時的なエラーが発生していた可能性があります。
しばらく時間を置いた後、再送してください。
その後も事象が解消しない場合には、セクション管理者様にご相談ください。

5.6.24. 登録されているクリプト便の専用ドメインが誤っている可能性がある

エラー内容： 登録されているクリプト便の専用ドメインが誤っている可能性があります。

ユーザのログインドメインの設定が誤っている可能性があります。
正しい設定に変更する必要があるため、セクション管理者様にご相談ください。

5.6.25. クリプト便のメール連携オプションが設定されていない

エラー内容： クリプト便のメール連携オプションが設定されていません。

オプション機能の設定が誤っている可能性がございます。
正しい設定に変更する必要があるため、セクション管理者様にご相談ください。

5.6.26. 送信元メールアドレスの形式が不正

エラー内容： 送信元メールアドレスの形式が不正です。

ユーザのメールアドレス形式が不正です。
正しい設定に変更する必要があるため、セクション管理者様にご相談ください。

5.6.27. クリプト便の送信ユーザがメール連携オプショングループに所属していない

エラー内容： クリプト便の送信ユーザがメール連携オプショングループに所属していません。

ユーザはメール連携オプショングループに所属している必要があります。
正しい設定に変更する必要があるため、セクション管理者様にご相談ください。

5.6.28. クリプト便のメール連携オプショングループが設定されていない

エラー内容： クリプト便のメール連携オプショングループが設定されていません。

メール連携オプショングループが設定されていません。
正しい設定に変更する必要があるため、セクション管理者様にご相談ください。

5.6.29. クリプト便の送信アカウントがロックされている

エラー内容： クリプト便の送信アカウントがロックされています。

ユーザのアカウントがロックされており、本オプションが利用できない状態です。
セクション管理者様にアカウントのロック解除をご依頼ください。

5.6.30. クリプト便の送信アカウントのパスワードの有効期限が切れている

エラー内容： クリプト便の送信アカウントのパスワードの有効期限が切れています。

クリプト便にログインし、パスワードを更新してください。